

産建文教常任委員会

全国高校総体に向けて

12月16日に委員会が開催され、ソフトボール場と野球場の改修工事を行うため、調査を行った結果について説明を受けた。

ソフトボール場・野球場改修工事調査

平成29年に女子ソフトボール競技が白鷹を会場に行われることから、老朽化した施設の改修を目的に、改修部分と工事費用についての調査を行ったもの。

● 財源について

スポーツ振興くじ助成を受けるべく、日本スポーツ振興センターと、助成対象の内容について打ち合わせ中。

● 就業センターの修繕

フロア張替えや畳の表替え、トイレ洋式化などを予定している。

質疑

事業費の増減は

委員 財源確保の結果により、事業費の増減はあるのか。

当局 補助の種類が改修内容により「普通」と「大規模」がある。

大規模を選択することで改修範囲が広がっても、有利であれば、事業費が増加する場合もある。



きれいにしてお迎えしましょう

紅花産地としてのブランド化をはかる

「日本の紅（あか）をつくる町」紅花生産日本一連携推進事業について説明を受けた。

● 取り組み方針

本町の紅花生産が国内トップシェアであることから、生産者間で連携し、生産拡大を進めていく。企業や大学などと連携して、紅花産地としてのブランド化をはかり、「紅花摘み」観光体験やPRを実施し、交流人口の増加をはかる。

質疑

推進本部について

委員 連携推進本部を設置したが、誰が進めていくのか。

当局 生産者など12名の本部員と地域おこし協力隊を含む8名の事務局。構成員それぞれの立場で活躍をいただき進める。

展開する主な事業（合計1010万円）

- ①生産技術向上及び組織強化（150万円）
土壌改良・ユニフォーム・商品学習会・他
- ②高付加価値化（50万円）
商品開発・6次産業化・他
- ③観光振興（80万円）
体験農業・ガイド養成・紅花娘衣装制作・他
- ④イメージアップ戦略（504万円）
紅花パネル・案内看板・ロゴシール・他
- ⑤全体フレームの構築（200万円）
本事業の全体フレームを構築する
- ⑥事務費（26万円）



この先の事業展開は

委員 先を見据えた事業展開をどうはかっていくのか。

当局 継続していくことが大切とし、まずは地方創生事業の中で取り組んでいく。

その他

- 町道路線の認定
 - 荒砥橋架替事業
 - 実洲川現況調査報告
 - PPPの大筋合意の影響
 - 食育・産地地消推進計画の中間報告
 - 荒砥小改修工事調査
 - 東陽グラウンド駐車場整備計画（案）
- について説明があった。